

夢育て・たちかわ子ども 21 プラン推進会議 要旨

会議名	第5期夢育て・たちかわ子ども 21 プラン推進会議（第5回）
日時	令和6年5月 20 日(月)18時 30 分～20 時 30 分
出席	金子恵、中嶋弥生、大橋暉弘、小畑くるみ、神田恭司、千頭和正巳、永田ゆかり、樋口睦子、土方崇、秋山俊、米原立将、景山千鶴子、佐藤米子、水城優子、山中ゆう子、伊東祐也、安部希美、大口泰朗、坂下香澄、鉤賢太郎、飯野心咲、松村咲(委員名簿記載順・敬称略) [事務局]矢ノロ子ども家庭部長、平川子育て推進課長、井田係長、高野 [株式会社地域計画連合] 柳坪、相羽
欠席	平野静香、小松佳世子、北島宏晃、末平乙綺、佐藤蓮太郎(委員名簿記載順・敬称略)
配布資料	(1) 市民意向調査 結果報告書(案) (2) 市民意向調査 結果報告書別冊(案)
会議場所	立川市役所 302 会議室

(開催に先立ち、事務局より人事異動の報告)

1. 市民意向調査結果報告書(案)について

(1) 事務局より、資料(1)に基づき、第5次夢育て・たちかわ子ども21プラン市民意向調査結果報告書(案)について説明。

概要:回収率(速報値51.7%から51.9%へ変更)

【全調査共通】

- ・自己肯定感に関する結果:「自分のことを好きだ」と思うかの設問に対し、「まあそう思う」・「そう思う」の回答が多い
- ・子どもの権利条約の認知度:「名前だけは知っていた」の回答が最も多い

【保護者共通】

- ・子育ての感じ方:全体的に「楽しいと感じることが多い」の回答が多いが、区分別のひとり親家庭では「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」の回答が最も多い
- ・子育てに関する悩み・困りごと:共通して多かった悩みは「子どもの学習や成績」「スマートフォン等でのSNSやゲームの使い方」
- ・家計の状況:全体では「900万円以上」、ひとり親家庭では「200～300万円未満」が多い
- ・必要と思う支援制度:「塾の授業料や勉強をみてもらうのにかかる費用の補助」の回答が最も多い
- ・ヤングケアラーの認知度:全体的に「聞いたことがあり、内容も知っている」の回答が最も多い。中高生世代の家庭では「聞いたことがない」の割合が4.7%となっており、他の区分と比較して認知度が高い
- ・子育て情報の入手先:就学前児童家庭とひとり親家庭で「SNSや子育て関連ブログ、掲示板等」の回答が2番目に多い数字になっているところに注目
- ・子育て環境の満足度:全体的に5段階中、「満足度3」が多い

【子ども本人共通】

- ・立川市に対する思い:「とても好き」・「どちらかというと好き」を足すと9割を超えている

【就学前児童の保護者】

- ・母親の育児休業取得状況:前回と比較し「取得した」が増
- ・母親の育児休業 取得しない理由:「子育てや育児に専念するために退職した」が前回よりも減

・父親の育児休業取得状況:「取得していない」が最も多いが、前回と比較し「取得した」が増

【就学児童の保護者】

・放課後の過ごし方:低学年・高学年とも「自宅」が最も多く、同じ傾向

【中高生世代の保護者】

・中高生世代保護者の「困っていること・悩んでいること」:傾向として「子育ての苦労を周囲に理解してほしい」の回答が前回より増

・相談できる人・場所の有無:グラフの訂正

【小学生・中高生世代】

・立川市に住みたいと思うか:小学生も中高生も「まだわからない」が多い

【ひとり親家庭】

・養育費について:「請求する相手はいるが、受け取っていない」の回答が多く、受け取りに関する相談も「請求すべき相手と関係をもう持ちたくないので相談はしない」の回答が多い

・子どもの権利の認知度:子どもの権利条約については、前回より「内容まで知っていた」・「名前だけは知っていた」を合計した回答の割合が増

【各対象者】

・子どもの権利を尊重しているか・尊重されているか:前回より「ある程度」を含み「尊重している」「尊重されている」の回答の割合が増

【その他】

・今回配布した報告書(案)では、最も多い回答を囲みの見出しにしているが、設問によっては囲みの見出しの内容にとられる場合もあり、多い意見だけでなく少数意見もきちんと聞いていくことも考え、製本の時には囲みの見出しを除いたものにしたい

(2) 委員からの主な質問、意見は以下のとおり。

・「子育て支援事業の認知度・利用状況」に係る設問で、認知度に対して利用率が低く、実効性があるものになっているのか気になる。

・「お子さんについて困ったり悩んだりしていること」について「子育ての苦労を周囲に理解してほしい」という回答が前回よりも増えていることから、子育ての苦労や楽しさを共有する場所が今後必要になるのではないかと思った。

2. 市民意向調査結果報告書別冊(案)について

(1) 事務局より、資料(2)に基づき、第2章第2節の分類ごとに主だった意見について説明があった。

(2) 委員からの主な質問、意見は以下のとおり。

・多くの意見を頂いているので、どう対応するか、プランにどう反映するのか、検討することが必要。

・市が対応できることと、国等の制度で決まっていて変えられないこともあるため、その整理が必要。また、以前は地域コミュニティの中でできていたことが、お金を払って業者などにやってもらえばいいという考えになってきていることについて、いいことなのかどうかを議論していきたい。

・行政ができるだろうけれどもやっていないこと、全く無理なこと、やっているのにやっていないと書かれていることを分けてもらえれば、我々もこうすればできるのではないかというアイデアが出せる。

・学校にマンパワーを集めるのはお金がかかると思うが、ボランティアなど、工夫をして、市として学校をサポートしていくと良い。

- ・今の立川の教育内容を子どもたちがどう受け止めているのかというのを、まとめていけると良い。
- ・子どもの性犯罪・被害について、イギリスにDBS という制度があり、日本でも施行される予定だが、今心配している方に対して何かできないか。
- ・図書館を含む自習スペースについて、特に中高生から意見が多かった。図書館の席数がそもそも少ない上に、大人が子どもの利用するべきスペースに座っているケースがある。
- ・子どもが相談すると大人がどう動いて、相談した先がどうなるのかをきちんと提示する必要がある。
- ・相談に来る人を待つという姿勢だけでは届かない支援が多くある。どういう支援が必要かだけでなく、どう実際に届けていくのかを議論していきたい。
- ・図書館や児童館など、子どもも保護者も利用しているところには意見が多い。これらの意見を取り入れていくためには、運営側の委員に入るなど、一緒に作っていくことも考えられる。
- ・厳しい意見の一方で、温かい意見もあるので、現場の方に何かしらの形で伝えてほしい。
- ・自由記述について、何かを聞いた以上、その意見や疑問に対し、ある程度回答をすることは必要。
- ・どういう立場の人をターゲットにして施策を作っていくのかを、具体的にしていこうという。
- ・このアンケートについて「電子化されてよかった」「量が多い」などの意見もあり、次回に生かしていきたい。
- ・放課後子ども教室のことを好意的に書いてくださっている方がいて、励みになると感じた。
- ・小学校のスクールカウンセラーによる全員面接を求める声があったが、すでに実際にやっている。また、中学校の情緒固定級はないので、小学校卒業後の行先が難しいということについてご指摘いただいている。そういったところを実現させていくプランにしていこうという。
- ・公園のトイレについて、男女で分かれていない上に小便器が外から見えるため、大人でも使いにくい場所がある。せめて男女を分けていただくと、性犯罪防止にもなると思う。
- ・病児保育は「利用したい」が4割程度いたにもかかわらず、「利用できなかった」と答えた割合が多く、病児保育を使いたい人がこれから増えると、もっと現状が悪化すると思う。子育てひろばや病児保育の情報は、出生届を出した際に案内してもらえるが、それ以降も最新の情報が届くようにできると良い。また、夜間等にかかることができる病院が充実すると、安心して子育てができると感じた。
- ・公園について、遊具についての意見が多かった。遊具が小さい子ども向けだけでなく、中高生も使えるバスケットをつけてほしいと思った。
- ・公園が大人の喫煙所になっているという意見があったが、そこは改善していくべきだと感じた。
- ・近くのトイレについて何年も要望を出しているが、予算の関係でそのまま。ただ、市からきちんと回答はしてくれているので、来年も出そうという意欲はある。バスケットコートについて、市が近くの空き地に付けさせてくれと調べに来たが、2年ぐらいその後聞いていない。
- ・公園にすべての機能を期待し、そこに行かないとたばこが吸えない、座る場所がないなど、まち自体が貧困になっているのでは。落ち着いて座れるベンチが街中にあればリラックスできるスペースが増えるし、公園で元気に遊べる場所もできる。そんな観点もこの会議で話し合えるといい。
- ・相談できる人がいるかというアンケートで「いない」と回答した人が1割もいた。この数字は怖いことで、虐待やいじめにつながる可能性もある。子ども家庭支援センターなどの「ある資源」が使われていない、必要なところにアウトリーチできていないことは問題。このアンケートを材料として、どう変えていくのか、支援を潜在的に求めている人にどうアプローチしていけばいいのか、どういう制度があればいいのかということを議論していければと思う。
- ・この推進会議の場で、協働というエッセンスを加えて計画を作っていくことが大事。自分の団体ではここができるのでは、ここに関わるのではないかと、ということをぜひ考えていただき、次の計画を皆さ

んで作っていきたい。

3.その他

- ・6月9日「チャイルドラインたちかわ」の20周年記念イベントを開催。チャイルドラインたちかわ主催、冒険遊び場の会たちかわ後援で、プレーパークも同時開催。
- ・社会福祉協議会の地域福祉コーディネーターについて、今年度の担当案内を配布。
- ・6月23日に市主催で「定時制・通信制高校等合同学校相談会」の実施。
- ・6月10日から立川市役所1階で、たまがわ・みらいパークのキャラバン隊開催。
- ・次回、推進会議 6月14日を予定。

以上